

8月24日時点版

い かた
**伊方地域の緊急時対応
(全体版：案)**

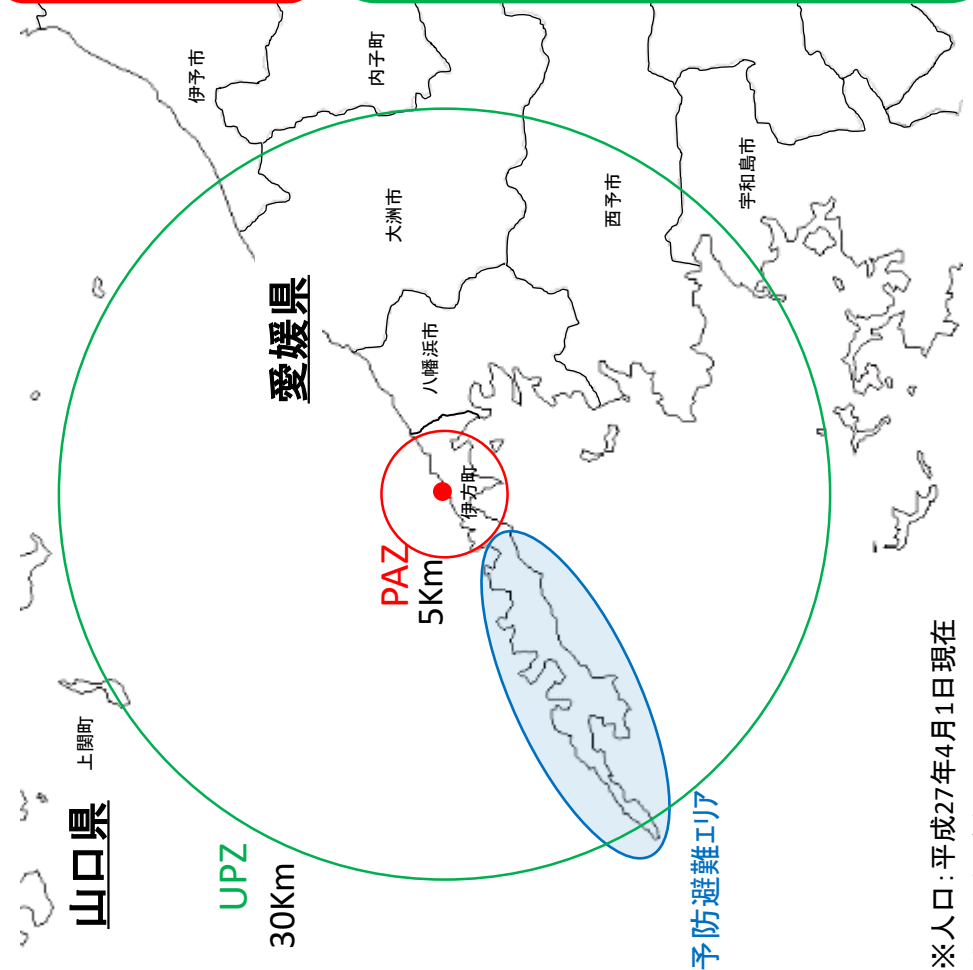
内閣府(原子力防災)
伊方地域原子力防災協議会

1. ^{い かつ} 伊方地域の概要	P.3
2. 緊急事態における対応体制	P.7
3. PAZ圏内の施設敷地緊急事態における対応	P.19
4. PAZ圏内の全面緊急事態における対応	P.30
5. 予防避難エリアにおける対応	P.39
6. UPZ圏内における対応	P.70
7. 放射線防護資機材、物資、燃料備蓄・供給体制	P.85
8. 緊急時モニタリングの実施体制	P.96
9. 原子力災害時の医療の実施体制	P.106
10. 国の実動組織の支援体制	P.115

1. ^{い かた}伊方地域の概要

原子力災害対策重点区域の概要

- 愛媛県地域防災計画及び山口県地域防災計画では、原子力災害対策指針に示されている「原子力災害対策重点区域」として、発電所より概ね5kmを目安とするPAZ圏内、発電所より概ね5～30kmを目安とするUPZ圏内の対象地区名を明らかにしている。
- 伊方地域における原子力災害対策重点区域は、PAZ圏内は伊方町、UPZ圏内は5市3町にまたがる。
- 伊方町の予防避難エリア（PAZ圏以西の佐田岬半島地域）の住民4,906人については、避難経路が発電所の近傍を通ることから、PAZ圏に準じた避難等の防護措置を準備することとしている。



＜概ね5km圏内＞

PAZ（予防的防護措置を準備する区域）：
Precautionary Action Zone
⇒ 急速に進展する事故を想定し、事故が発生したら直ちに避難等を実施する区域

1町（伊方町（愛媛県）） 住民数：5,496人※

＜概ね5～30km圏内＞

UPZ（緊急時防護措置を準備する区域）：
Urgent Protective Action Planning Zone
⇒ 事故が拡大する可能性を踏まえ、避難や屋内退避等を準備する区域

5市3町（伊方町、八幡浜市、大洲市、西予市、宇和島市、伊予市、内子町（愛媛県）、上関町（山口県）） 住民数：118,342人※

＜PAZ圏以西の佐田岬半島地域＞

予防避難エリア（PAZ圏に準じた避難等の防護措置を準備する区域）：
1町（伊方町（愛媛県）） 住民数：4,906人※

※人口：平成27年4月1日現在

出典：国土地理院「e-View」(http://maps.gsi.go.jp/#10/35.516782/132.540436)
「白地図/国土地理院」(http://maps.gsi.go.jp/#10/35.516782/132.540436)（共に内閣府（原子力防災）作成）

原子力災害対策重点区域周辺の人口分布（一般住民）

➤ PAZ圏内人口は5,496人、UPZ圏内人口は118,342人、原子力災害対策重点区域内の人口は合計で123,838人。

関係市町名		PAZ圏内		UPZ圏内				合計	
		(概ね5km圏内)		(概ね5～30km圏内)					
				予防避難エリア <small>さだみさき</small> (PAZ圏以西の佐田岬半島地域)					
愛媛県	<small>いかたちょう</small> 伊方町	5,496人	2,438世帯	4,906人	2,401世帯	4,906人	2,401世帯	10,402人	4,839世帯
	<small>やわたはまし</small> 八幡浜市			36,386人	16,706世帯			36,386人	16,706世帯
	<small>おおずし</small> 大洲市			42,518人	18,690世帯			42,518人	18,690世帯
	<small>せいよし</small> 西予市			29,225人	13,300世帯			29,225人	13,300世帯
	<small>うわじまし</small> 宇和島市			4,362人	1,587世帯			4,362人	1,587世帯
	<small>いよし</small> 伊予市			790人	316世帯			790人	316世帯
	<small>うちこちょう</small> 内子町			121人	48世帯			121人	48世帯
小計		5,496人	2,438世帯	118,308人	53,048世帯	4,906人	2,401世帯	123,804人	55,486世帯
山口県	<small>かみのせきちょう</small> 上関町			34人	24世帯			34人	24世帯
小計				34人	24世帯			34人	24世帯
合計		5,496人	2,438世帯	118,342人	53,072世帯	4,906人	2,401世帯	123,838人	55,510世帯

※人口：平成27年4月1日現在

昼間流入人口（就労者等）の状況

- 平成22年国勢調査によると、伊方町全体いかたちょうでの他市町からの昼間流入人口は、約1,600名／日。
- また、平成24年経済センサスによると、四国電力関連企業及び物流関連企業を中心に522事業所、約3,800人がPAZ圏内(5km)及び予防避難エリアにて就労。
- 就労者の多くは、自家用車又は民間企業が所有するバスを通勤手段としている。

	県内他市町からの 流入人口	県内他市町への 流出人口	差引増△減
<small>いかたちょう</small> 伊方町	1,559人	901人	658人

※平成22年度国勢調査従業地・通学地集計 従業地・通学地による人口・産業等集計(総務省統計局)

PAZ圏内及び 予防避難エリア対象地域	事業所数	従業員数
<small>いかた</small> 伊方地域	264	2,720人
<small>せと</small> 瀬戸地域	91	490人
<small>みさき</small> 三崎地域	167	627人
合 計	522	3,837人

※平成24年度経済センサス－活動調査 町丁・大字別集計(総務省統計局)

2. 緊急事態における対応体制